

活動の場所

豊岡市、加陽水辺公園、中筋地区



活動目的

持続可能な“森づくり”とそこで育つ“人づくり”

活動内容

森林整備

豊岡市立加陽水辺公園交流館の裏山や湿地ふれあい広場の周辺で繁茂している竹林の伐採や草刈り作業を実施しています。

自然体験イベント

身近な自然を知ってもらい関わってもらいきっかけづくりとして整備体験や自然体験「夜の昆虫捕獲作戦！！」等を開催。

木工品の商品開発

間伐材を活用しクラフト素材や木工製品を制作。木のぬくもりや自然素材の良さを感じてもらえるよう取り組んでいます。

森のようちえん つむぐり

森林整備で手入れされ、林床まで光が入った気持ちのいい里山環境では、森のようちえんを実施しています。森のようちえんとは、子どもたちが自然の中で主体的に過ごすことを通して、子ども自ら育つプロセスを大切にしたい学びの場です。自然の中で行われる子ども主体の保育を大切にしています。1日のほとんどの時間を子ども主体で保育し、大人がどうしようというのではなく、子どもたちの「やってみたい！」が、心も身体も大きく成長させてくれる最大の力と考えています。活動の前提には、大人の安全管理の知識が必要であり、スタッフはMEDIC FIRST AIDを受講しています。

*活動の詳細はこちらから▶<https://nextgreen-tajima.amebaownd.com/>

▶https://www.instagram.com/mori_tsumuguri/



PRしたいポイント

- 市・地域・地域事業者が協働した持続的な保全と自然資源の利活用を両立させる基盤を形成するために活動しています。
- 自然保護事業における親子参加型体験プログラムでは、2021年11月から2022年3月までにのべ198人が参加し、活動エリアである加陽水辺公園の利用者数は、管理開始当初の約6,000人から2021年には8,197人となっています。

活動効果、今後の展開 等

- 森のようちえん つむぐりは、自然の中での育ちによって、地域の自然を大切に思う心を育て、将来的に自然環境保全に貢献する人材を育成するとともに、豊かな感性を育み、主体性を持った子どもを育てる情操教育の場としています。
- 里地里山の保全整備等を自然体験や環境学習イベントとして実施することにより、生物多様性や里地里山の保全に寄与する活動を拡大しています。生物多様性や里地里山の保全が進み、コウノトリも住める自然環境の保全に寄与します。